



東京トイ

ヨペット 八王子店

P
←

新宿立川
Shinjuku-Tachikawa
新宿
Shinjuku
八王子駅
Hachioji Sta.
300m

お買い物は
マクドナルド
百八両堂
八王子店

KIRIN

2011.09.27

八王子:千人町



2011.09.27

八王子:千人町



交通

酒 た に や

不動産
38-8862

不動産

ENKI

酒 TANIYA

町

追分道標
この石碑は、追分道標の遺構である。追分道標は、かつて追分を結ぶ重要な交通路を示すために設置された。この石碑は、追分道標の遺構である。追分道標は、かつて追分を結ぶ重要な交通路を示すために設置された。

2011.09.27

追分道標

八王子千人同心

千人同心の成立

八王子千人同心は江戸時代に千人町と付近の村々に分かれて住んでいた半士半農の武士集団で、そのもとは甲斐の武田氏の家臣・小人数と配下の小人(同心)たちにあります。
 天正10年(1582)、武田氏が滅び、同年8月織田信長が本能寺の変で死亡すると、甲斐国は徳川家康が治めるようになり、家康は武田氏の家臣を取り立て、その中で9人の小人数を武田時代と同様に甲斐の国境9か所の道筋奉行に任じました。

天正18年(1590)、八王子城が豊臣秀吉の小田原城攻めの時に築城した後、徳川家康は関東に領地換えとなり、小人数と配下の約250人を八王子(現在の元八王子)に移し、落城後の城下の警備にあたらせました。
 天正18年(1591)、原を1人増員し、同心も北条やその他の浪人を加え500人とし、戦乱がおさまらない時代には戦時部隊として、朝鮮出兵時に肥前名護屋などにも出陣していました。
 文禄2年(1593)、小人数と小人たちは現在の千人町に拝領屋敷地を与えられ、元八王子から移転します。千人町に移された理由としては、八王子城下の混雑が静まったこと、甲州口の押えとして江戸の戸を守ることに等があります。
 慶長4年(1599)、慶長の戦いを前にして、代官藤・大久保長安の指示により1000人に増員され、文字どおり「八王子千人同心」が成立しました。
 「千人町」は最初から呼ばれていたのではなく、「五百人町」と呼ばれていたことが記録にあり、「千人同心」「千人町」と呼ばれるようになったのは、しばらくたった寛永年間(1624~)頃からとされています。またこのあたりは千人頭・原源の屋敷があった場所です。

千人同心の組織と公務

千人町に住んでいたのは頭10人と同心約100人で、他の同心は付近の村々に住んでおり、幕末の嘉永7年(1854)相模・二宮光常が作成した「新編忠臣蔵」によると、当時の同心は住村は、東は三鷹市、川崎市登戸、南は相模原市、西は津久井郡、北は箱根市と広域にわたっていました。
 千人頭1人は幕府・将軍行配下の旗本(将軍の御用で1万石未満の者)身分で今の横浜市都筑区、千葉県原市などに約50石~90石の知行地を与えられていました。1人の千人頭に10人の組頭と30人の平同心が属し、各組100人の組織でした。同心は将軍の御用でもあつても、お目見え以下(将軍に謁見する資格がない)の身分で、日常は農業を営んでおり、公務の時以外は武士となる珍しい集団でした。
 当初は関ヶ原の戦いや、大坂冬の陣、夏の陣に従軍するなど軍事的な役割を担っていましたが、戦乱がおさまるとともに幕府の日光への参勤のお供、将軍の日光東照宮への社参のお供、江戸城修築の警備、将軍上各のお供などを勤め、慶安4年(1651)日光に三代将軍家光の墓が作られると、翌慶安5年に「日光火の番」を命じられ、幕末に至るまでの公務の中心となります。
 日光火の番は東照宮の警備、防火、消火をおこなうもので、最初は、頭2人と属する同心50人ずつ100人が50日交代するものでしたが、寛政3年(1791)からは頭1人同心50人が半年で交代することとなり、慶応4年(1868)まで、21年間1020回にのびました。
 改暦から離れ、暑い日光での勤務は厳しいものでしたが、武士の身分として勤務する千人同心のほとんど唯一の公務でもありました。



八王子千人同心年表

天正10年(1582)	3月 甲斐の武田氏滅亡 6月 本能寺の変 徳川家康、小人数9人に 甲斐国の国境警備を命じる
天正18年(1590)	6月 八王子城築城 7月 小田原城開城 小人数と配下の小人約250人を 八王子城下に配置する
天正18年(1591)	小人数を1名増員し、 同心も増員し500人とする
文禄元年(1592)	朝鮮出兵に出陣
文禄2年(1593)	小人数と小人たちは現在の千人町の 拝領屋敷と付近の村々に移転
慶長4年(1599)	同心1,000人に増員される 「八王子千人同心」の成立
慶長5年(1600)	関ヶ原の戦いに出陣
慶長19年(1614)	大坂冬の陣に出陣
元和元年(1615)	大坂夏の陣に出陣
慶安5年(1652)	日光火の番を命じられる
宝永2年(1705)	江戸火消し役を命じられる (同5年まで)
寛政12年(1800)	千人頭原胤敷・同心の子弟と ともに蝦夷地開拓に出発
安政2年(1855)	西洋銃の訓練を命じられる
文久3年(1863)	横浜警衛
慶応元年(1865)	第2次長州出兵
慶応2年(1866)	千人同心「千人隊」と改称
慶応4年(1868)	3月 官軍(東征軍)に降伏する 閏4月 日光を官軍に引き渡す 千人頭石坂弥次右衛門 八王子に帰切腹 6月 千人隊解散 千人頭と一部の同心は静岡に移住

蝦夷地開拓

千人頭・原胤敷(1747~1827)は幕府に蝦夷地(北海道)の警備と開拓を願い出て許され、寛政12年(1800)3月、弟・新介とともに千人同心の子弟100人を引き連れ、白糠(白糠町)と勇払(苫小牧市)に入植しました。また秋には後続30人が合流し、警備、開拓、道路建設などに従事しましたが、慣れない環境と厳しい寒さのため、4年後の文化元年(1804)までに病死者32人、帰国者19人を出し、事業も中止されると、残りの者も順次帰国してしまいました。

またこれらとは別に、家族とともに勇払場所に派遣された組頭見習・河西祐助は、3年後に妻・梅を亡くし、さらに4年後祐助自身も死亡して幼い2人の子が残される悲劇となり、今も苫小牧市に夜泣き梅女の伝説とともに語り伝えられています。
 苫小牧市民会館前に立つ開拓記念碑の像は2人がモデルになっています。



洋装した組頭・二宮光常
(千人町の町名存続に尽力した)



千人頭・石坂弥次右衛門(中央)



河西梅の墓石も並ぶ勇払開拓史跡公園(北海道苫小牧市) 苫小牧市民会館前に立つ開拓記念碑

幕末の千人同心

外国船が盛んに日本沿岸に近づくようになり、嘉永6年(1853)ペリーが来航し開国を迫ると、幕府は外国対策や軍制改革の必要性を痛感し、大砲等の近代軍備の整備、台場の築造等の海岸防備に取りかかります。

千人同心も安政2年(1855)、西洋銃の訓練を命じられます。そして近代装備を身に付けた千人同心は、日光火の番の一方で、戦闘集団として将軍家茂上洛のお供、横浜警衛、第2次長州出兵に出陣するなど、休みなく動員されます。

また慶応元年(1865)9月陸軍奉行の支配下となり、翌慶応2年10月、幕府の兵制改革により「千人同心」は「千人隊」と改称されます。

慶応4年(1868)、江戸を目指して進軍する東山道鎮撫軍(官軍)参謀・板垣退助ら約2000人は、3月11日八王子に到着し、千人頭らはこれを迎え入れ、恭順の意を示し、勤王を誓い、徳川家に対する寛大な処分を願う嘆願書を提出しました。

一方、日光勤務中の千人頭・荻原頼母が3月15日に急死し、代番に千人頭・石坂弥次右衛門が決定し、3月28日に日光に着任します。

4月11日の江戸城明け渡し等により不満を持つ幕臣たちは幕府脱走軍となり、2000名が大島圭介、土方歳三に率いられ、4月24日の宇都宮での敗戦後、日光山内に立てこもり、これを許さない官軍と対峙します。

日光の寺社は戦火の危機にさらされますが幕府脱走軍は官軍・谷千城、板垣退助らの攻撃前夜の29日に会津へ引き上げ、弥次右衛門らは約2カ月前に八王子で出迎えた板垣退助を再び迎えることとなります。

そして日光を戦火にかけることなく引き渡し、216年間続いた日光火の番は終わりになります。弥次右衛門は、閏4月10日八王子に帰着しますが、戦わずに日光を明け渡した責任を問われ、切腹して果てました。

千人隊の解体

慶応4年(1868)6月、千人隊に対して、駿府(静岡)に移った徳川家に従うか、新政府を願い出るように、通告されました。千人頭全員は徳川家に従うことを選びました。



2011.09.27

八王寺：銀杏並木
(天然記念物)



小児科
こども診療所
TEL 025-0000
八幡町 11

たばこ

たばこ

2011.09.27

八日町宿跡付近

八

新宿 横浜
Shinjuku Yokohama

川越
Kawagoe

中央道
CHUO EXPWY

16 20 506

P 八日町
夢街道
パーキング
Yokamachi Yumekaido

剣心館道場
3F
貸ホール



2011.09.27

八王子:八日町



2011.09.27

八王子市
夢美術館



小田原屋ビル

メジャー 1648 5088

1648 5088

横山町公園

支えあひ
日本
公明党

八王子の市街地のまつり

Hachioji Festival in the Downtown Area

甲州街道に面した八王子の旧市街地は、横山十五窟と呼ばれた江戸時代から「山車」が祭で曳かれていました。山車は、「曳山」とも「屋台」ともいい、祭礼などで山・鉦・人形・花などを飾り、曳いて移動するものです。八王子では夏祭りに曳き出され、商売繁盛・家内安全を祈願して八幡・八雲、多賀の二つの神社にそれぞれ奉納されました。

二つの祭のうち「下のまつり」と呼ばれたのは、八幡・八雲神社(元横山町)の祭礼です。市街地の東部地域が、9月14・15日に山車を曳いていたもので、昭和10年頃から7月23・24日に行なうようになりました。また「上のまつり」は、多賀神社(元本郷町)の祭礼で、西部地域が8月15・16日に行なっていました。

ともに祭の前日に山車小屋から曳き出され、町内で簾職等が飾り付けを行ないます。唐破風の屋台の上に山車人形の勇姿を飾り上げました。山車人形は横山町三丁目の「織田信長」、中町の「謙鼓鳥」、八幡町の「神武天皇」と「謙鼓鳥」、上八日町の「素戔嗚尊」の5体が残っており、これらの山車と山車人形は市の指定文化財になっています。

昭和41年に「八王子市民まつり」として、8月の第1土・日曜日に上下を一緒にした祭りとなり、その後「八王子まつり」と改称され市民に親しまれています。ほかに、8月1日に台町の浅間神社の「だんご祭り」、9月2日に新町永福稲荷神社の「しょうが祭り」、本町東院の「とうがらし地蔵祭り」などがあります。また大横町にあった大善寺の十夜法要は、江戸時代から始まり、毎年10月13日から15日まで行なわれ、近郷近在から参拝者が集まり関東一円に知られた「八王子のお十夜」として親しまれました。大横町の通りには露店が並び、織物生糸の市も十夜市などといひ、大変賑わいました。大正から昭和初期からは、境内に見世物小屋やサーカスが出て、戦後もお十夜は盛んでしたが、大善寺の大和田町移転とともに、昭和38年(1961)10月を最後に長い歴史の幕を閉じました。



八日町の山車行列(大正2年)
The Float Parade in Yoka-machi (of 1913)



大善寺のお十夜(昭和5年)
Ojuya at the Daizen Temple (of 1930)



南町花車および仮装行列(大正2年) 八幡八雲運宮記念写真帖より
A Flower Float and A Fancy Dress Parade of Minami-cho (of 1913)
From the Memorial Photo Album



三崎町の山車
The Float of Misaki-cho

織田王の面(織田王を舞う織田信長)
The Float Doll of Yokoyama-cho 3 Chome
(ODA Nobunaga Dancing as King Raryo)

People have been carrying floats on festivals in the old urban district of Hachioji, which faces Koshu Kaido and was called Yokoyama Fifteen Inns from the Edo era. The floats, also called "hikiyama" or "yatai" and mounted with hill-shaped decorations, halberds, dolls, flowers, etc., moved around on festive occasions. In Hachioji they were carried out on the summer festival. To pray for business prosperity and domestic safety, they were dedicated respectively to the Hachiman Yakumo Shrine and Tago Shrine.

The festival celebrated at the Hachiman Yakumo Shrine (Motoyokoyama-cho) was called "the Lower Festival" in the eastern part of the downtown area. People used to carry the floats on September 14 and 15 and from about 1935 changed to July 23 and 24. On the other hand, "the Upper Festival" in the western part was that celebrated by the Tago Shrine (Motohongo-cho) on August 15 and 16.

In both cases the floats were taken out from their sheds the day before the festival and decorated by the steeplejacks of the town. On the gabled stage of the Chinese style were set up the brave figures of the float dolls. There remain five float dolls, namely "Oda Nobunaga" of Yokoyama-cho 3 Chome, "Kankodori (Peace Cock)" of Naka-cho, "Jimmu Emperor" and "Kankodori (Peace Cock)" of Hachiman-cho and "Susanoonamikoto" of Kami Yoka-machi. These floats and float dolls have been designated as the municipal cultural assets.

In 1966 the two festivals became one as "the Hachioji Citizens' Festival" on the first Saturday and Sunday of August. Later it was renamed as "Hachioji Festival" and is enjoyed by citizens. Besides, there are "Dango (Dumpling) Festival" at the Sengen Shrine in Dai-machi on August 1, "Shoga (Ginger) Festival" at the Eifuku Inari Shrine in Shin-cho on September 2, "Togarashi (Red Pepper) Deity of Children Festival" at the Zentoin Temple in Hon-cho, so on and so forth. The Juya Memorial Service at the Daizen Temple in Oyoko-cho had been held from the Edo period gathering from the Edo period.



サンクレストホテル
サンクレストホテル
サンクレストホテル

英屋商店

横山町郵便局
Yokoyama-cho Post Office

フレックス

浄菜舎
0120
114-046

Leopalace 21

サンクレストホテル
サンクレストホテル
サンクレストホテル

2011.09.27

八王子:横山町

市守神社
大鳥神社

内でボールをけ
投げたりしてはいけ
市守大

市守神社
大鳥神社

2011.09.27

史蹟
一里塚跡

2011.09.27

一里塚跡



市指定史跡

新町竹の鼻の一里塚跡

所在地 八王子市新町五番

指定年月日 昭和三十八年四月一日

一里塚は、慶長九年（一六〇四）に日本橋を起点として一里（約四キロメートル）ごとに塚を築き、榎を植えた場所です。旅人の距離の目安となったり、木陰が憩いの場になっていたともいわれています。

ここ、新町の一里塚は甲州道中八王子宿の東の入口に位置し、江戸から十二里にあたります。

明治三十年（一八九七）の八王子大火で焼かれるまでは、大榎が涼しい木陰を作り、往時をしのばせていたようですが、現在は付近で鍵の手に曲がる道筋が、昔の面影をわずかに残しています。

平成二十一年三月一日

八王子市教育委員会

自然と文化財を大切にしましょう

が好き
いな心
タリークラブ

一級河川
浅川
ASA Riv.

大和田橋
Owada Bridge

2011.09.27

浅川:大和田橋



2011.09.27

浅川



2011.09.27

烧夷弹弹痕



2011.09.27

高倉稲荷神社



KONICA MINOLTA

2011.09.27

日野
コニカミノルタ

新登場
キン

FC

新宿 立川
Shinjuku Tachikawa
↑
256 豊田駅
Toyoda Sta.
← 235 →

ドライブスルー
←

関根クリニック

北京家庭菜

2011.09.27

日野台



● 外來者の無断内立入りを
禁止します。
● 盗用および、守衛所の
付で手続の入、持込等
はできません。
● 日野自動車株式会社

2011.09.27

日野自動車工業



2011.09.27

日野駅東：法泉寺



2011.09.27

八坂神社



2011.09.27

八坂神社



2011.09.27

八坂神社

図書館



甲州街道日野宿
問屋場跡
高札場跡

2011.09.27

日野宿：問屋場跡、高札場跡



日野宿本陣

日野宿本陣
歴史
日野宿本陣は、徳川幕府の御用金廻り所として栄えた。本陣は、徳川家康の御用金廻り所として、寛文年間（1661-1716）に建てられた。本陣は、徳川家康の御用金廻り所として、寛文年間（1661-1716）に建てられた。本陣は、徳川家康の御用金廻り所として、寛文年間（1661-1716）に建てられた。

2011.09.27

日野宿本陣



2011.09.27

日野宿本陣



2011.09.27

多摩モノレール



2011.09.27

日野渡船場跡



2011.09.27

立日橋



←富士山

2011.09.27

立日橋から
富士山を観る



2011.09.27

富士山



2011.09.27

多摩川
左:立川、右:日野



国分市消防第二分団

元上谷保村の常夜燈
式正石造り
寛政11年(1799)建立
村の守護神として
大切に守られてきた
が、昭和30年代
に壊れてしまった
ため、昭和40年代
に再建された
ものである
とされている

2011.09.27

元上谷保村:常夜燈



谷深山南養寺

2011.09.27

南養寺



2011.09.27

南養寺



天

満

宮

奉

奉

天満宮

2011.09.27

谷保天満宮

関家かなどこ跡

関家は、鑄物三家（矢澤、森窪、関氏）の一家と言われ、江戸時代から明治初期まで鑄造を業としておりました。

梵鐘、仏像等の他に鍋釜などの日用品を製造しており、鑄物三家の銘のある梵鐘には、立川普濟寺、府中高安寺、日野牛頭天王（現八坂神社）等があり、谷保山南養寺のものには、安永六年（一七七七）関氏の銘が刻まれています。

また、関家には、観世音菩薩座像の鑄型が保存されており、この原形をもとにした仏像は、所沢の薬王寺にありましたが、戦時中の供出により失われてしまいました。

昭和三十七年の作業場等の発掘調査により面積約一五〇平方メートルの中に鉄滓、鉄片、陶片、煉瓦片等が発見されております。

平成五年三月

国立市教育委員会



常夜燈
秋葉大権現

府中：秋葉大権現常夜燈



国史跡
武蔵府中熊野神社古墳
国史跡
武蔵府中熊野神社古墳

熊野神社

熊野神社

車止

2011.09.27

府中：熊野神社
古墳：上円下方墳



2011.09.27

府中の甲州街道



2011.09.27

府中:本宿辺り

弁慶坂（べんけいざか）

「江戸名所図会」（江戸時代の地誌）に、「甲州街道に架する所の橋をも弁慶橋と号け、東の坂を弁慶坂と呼べり」とあります。この坂は、高安寺に伝わる弁慶の伝説に由来します。これは、高安寺の堂のうしろにある古井戸から弁慶がこの井戸の水を汲んで硯の水とし、大般若経を書写したと伝えられるものです。高安寺は、往古建長寺の末寺で、足利尊氏が武蔵国の安国寺として中興した名刹です。この地は、武蔵守藤原秀郷の館跡ともいわれています。

昭和六十一年五月
府中市

弁慶坂



2011.09.27

高安寺



国家安康

町内安全

火の用心

カラオケスタジオ
La-Dance
ラ・パンパ
営業時間 18:00~24:00

番

2011.09.27

番場屋



正 常 運 送
普通車・大型車
日曜・休日
葬儀・送迎 無任の意 各社保証書
交通費文庫 随時貸出
○番号 0423-22-8817

有木村運送

正 常 運 送
普通車・大型車
日曜・休日
葬儀・送迎 無任の意 各社保証書
交通費文庫 随時貸出
○番号 0423-22-8817

車 場 有

2011.09.27

長福寺



番場

御本社
一之宮
番場町

番場公園

2011.09.27

番場公園

宿場番

番場宿（ばんばじゆく）は、現在の宮西町二・四・五丁目の一部（旧甲州街道沿い）に集落の中心があった宿場です。この宿場は、もとの名を茂右衛門宿といいますが、これは、この土地が名主茂右衛門によって開発されたことにより、番場宿と称するようになったのは寛永十三年（一六三六）のことといわれています。幕末の地誌『新編武蔵風土記稿』には「家敷百三軒（甲州）街道の左側に簷を連ね」とあります。もともと番場宿は、ハケ沿いの甲州古街道筋にありましたが新街道の設置（慶安頃一六四八、五二）に伴って移転したものです。地名の起りには、不明ですが、馬場の転訛とか、番所があったからとの説があります。高安寺、長福寺などの古刹があります。この地域には、

こうしゅうかいどう

甲州街道（こうしゅうかいどう）の名
は、この道が甲州へ通じること由来し
ます。この道は、慶安頃（一六四八）五
二）に開設された江戸と甲州を結ぶ幹線
道で、五街道の一つです。

星ヶ崎の府中を穿



奉祝 御鎮座吉千九百年
大國魂神社 御鎮座吉千九百年記念事業実行委員会

渡辺印刷

キッネの嫁入
絵巻
単司

府中観光協会

2011.09.27

大國魂神社

大
國
魂
神
社

奉祝 御鎮座九百年



2011.09.27

大国魂神社

奉祝 御鎮座七十九百年
大國魂神社 御鎮座七十九周年記念事業実行委員会

古澤電機

町田豆腐店

金子武典

縄文の湯

中久本吉

調布支店

大國魂神社

2011.09.27



十月八・九・十日
御鎮座壹千九百年奉祝祭

十月八・九・十日
御鎮座壹千九百年奉祝祭
大國魂神社

十月八・九・十日
御鎮座壹千九百年奉祝祭
大國魂神社

御鎮座壹千九百年奉祝祭
大國魂神社

立入禁



南町

消防水利
2011.09.27

榎通り 右 伊勢丹

FOR'S
地下1層
食品スーパー
さくら市場

おねほ青年会

赤穂城

POWER BANK
OPEN



2011.09.27

榎通り

中華料理
吉田屋

中華料理
吉田屋

中華料理
吉田屋

康馬

場

贈
若子連
年子連
会



天然記念物 大國魂神社 榎並木

大國魂神社榎並木の碑
(天然記念物)

2011.09.27

